

盆前の恒例行事「落雁づくい」賑わう

地域づくり部会



家族で参加も楽しいですよ



型に色付きの粉を入れます

9時30分から一組目10名の作業が始まります。講師の馬場さんの指示に従い香砂粉と砂糖に水を加えて手早くかき混ぜ、しつとりした粉を落雁の型に押し込み、指でしつかり押さえます。型に色付けした粉をちりばめたら色付きの鮮やかな落雁に、何も入れなかったら真っ白い落雁が出来上がり。上手く作るコツは何事も手早くサッサとすることと言われますが皆さんやっぱ慎重になつてしまいがちです。でも各自手作りのきれいな落雁が出来上がっていききました。手際よく3組まですべてが無事終了。部会員の準備、片付けも慣れてきたので来年度はもう少し体験者を増やしてもいいのではとの声も上がっています。

是非、来年度は手作りの落雁でお盆を迎えてみませんか？



今年も盆前の8月9日(土)に恒例となった「落雁づくり体験会」が開催されました。今年で6回目となり毎年参加される方も多くなってきました。

電波教室開催

公民館活動部会

聞こえたよ! 手作りラジオ



電波の不思議な実験

る楽しいイベントです。来年度も多くの参加をお待ちします。



ハンダごての操作に集中



最後に記念写真

まず、「電波とは何か？」をわ
かりやすく説明するアニメを見
て、次は実際に電波の働きを知る
ことができる実験です。不法電波
はいけないことや、電波を出す機
器を操作するには免許があること
などをわかりやすく説明してもら
い、いよいよラジオ工作です。
FMラジオ工作
キットを親子で
完成させます。
ハンダごてで図
面のとおり各部
品を固定させい
って完成。イヤ
ホンを耳にして
「聞こえる！」
「競馬中継のあ
りよつ」と歓声
を上げていまし
た。親子で電波
を作り、ラジオ
を作った。



最後に記念写真

総務・広報部会

高齢者スマホ教室開催

総務・広報
8月19日（火）総務広報部会による「スマホ教室」が開催されました。参加申し込み者は4名と多くなかったですが、役員も合わせて10名程度で講師の中島哲也部会長の説明を聞きながらお互い勉強しました。スマホの必要性、メールのメリットデメリット、Eメールやラインのメール、携帯番号が判れば誰にでも送れるショートメールなどそれぞれの特徴を解説してもらいました。後半は、参加者のしたいこと、聞きたいことを、できる人がアドバイスする形で進みました。

健康講座開催



9月8日(月)久
間コミュニティ会
議室で「健康講座」
が開催されました。
今回は「デイサー
ビスセンター 済昭
園」より出前講座に
来ていただきました。
認知症介護指導
者、武富広美先生に
よる「認知症を知ろ
う」と梅原隆行さん

による「仲間と一緒に認知症予防」
「デイサービスの魅力発見」でお話し
ていただきました。ちよつとドキリを仕掛け
られたり、3人の寸劇で会場の中は笑いで一杯
に。認知症は誰でもなる可能性がありますが、
その予防も、発症しないという意味の予防では
なく発症リスクを少なくするものになります。
デイサービス利用もその予防、進行を遅らせ
るということと効果があるということでした。
「知っていれば安心」という意味でデイサービ
スの見方もチョッピリ変わってきそうですね。



出だしから笑いをとった寸劇



脳を動かすトレーニング

健康福祉部会



寿会の皆さん

寿会 会長 吉田幸子

健康で彩り豊かな
生活を送るためにコ
ミュニティではいろ
いろなサークルがあ
ります。
【教育と教養】
今日行くところ
今日用があること
が大切といえます
よね。皆さん奮って
ご参加を

祝 寿会発足 10 周年 祝

皆様、こんにちは！
久間コミュニティ趣味のサークル「寿会」
の会長、吉田と申します。
平成27年9月10日に、消えつつある伝承
芸能「祝い目出た」を繋げていくためにと
始めたこの会も、早いもので今年10周年を
迎えました。
多くの方に賛同していただき、会の当初
から「皆が先生、皆が生徒」のキャッチフ
レーズでやってまいりました。
月の第一と第三水曜日の午後1時30分
から3時30分の約2時間、「祝い目出た」を
会の冒頭で歌い、あとは次々に自分の好き
な歌謡曲、フォークソング、民謡などが
そしてみんなのお楽しみのティータイ
ム。手作りのお饅頭や美味しい漬物、おこ
わなど持ち寄って楽しい時間を過ごしま
す。93歳を先頭に会員20数名が暑さも忘れ
嬉野市曲「ふるさとの空よ」で歌い納め
です。
9月3日が水曜日でしたので、ちよつと
早い10周年を鹿島の祐徳温泉で楽しく賑
やかに祝いました。

事務局長雑感

歌手の橋幸夫さんが亡
くなつた。代表作の一つ
「いつでも夢を」は昭和
37年に大ヒットしたレ
コード大賞受賞曲だ。吉
永小百合さんとのデュエ
ットで歌謡史に残る名曲
の一つだろう。戦後の混
乱期から高度成長時代へ
と移り、池田隼人内閣が
「国民所得倍增計画」
(10年で国民所得を倍
増させるという政策で、
実際7年で達成した)を
打ち出し、世の中は夢と
希望にあふれた社会だっ
た。優しい歌詞と歌声で
レコード売上は100万枚
を突破した。幼い頃から
慣れ親しんだこの曲には
不思議な安心感と心地よ
さを覚える。
佐賀新聞のコラムがこ
の曲に触れて書いている
中に、作詞家の阿久悠さ
んの言葉を紹介してあっ
た「社会に元気がなくな
ると、自分を慰める歌は
あっても、人を喜ばせる
歌はなくなる」と。
これを読んで、自分の
感じていた心地よさはあ
の当時の世相の反映だ
ったかと腑に落ちた。
高度経済成長は多分
無理だろうが、せめて
これからも社会が安定
し、人を喜ばせる歌が
また流行ることを期待
しよう。

青色防犯パトロール活動担当地区のお知らせ

午後3時15分～4時15分まで

9月中 通
10月中 久間

よろしく
お願いします



PTA も月2回パトロールしています